

広報オススメ本 8月 テーマ「戦後80年」



「もしも魔法が使えたら」 星野 光世／著 講談社

本書は、戦争孤児12万3,500人の一人で、東京大空襲で両親と兄妹を失った著者の体験が綴られています。他にも、戦争で家族を亡くした戦争孤児11人がその後どのように生きてきたのか、「生きるための戦い」が記録された1冊です。



「戦中・戦後の暮らしの記録」 暮しの手帖社

本書は、雑誌「暮しの手帖」で募集し応募があった、2,390通の自筆または聞き書きによる作文から選ばれた157通が掲載されています。原稿の他に絵や写真、手紙等も掲載されており、戦中・戦後の暮らしが分かる1冊です。